



取手第二中学校 学校だより
令和8年10月13日発行
文責 校長 丸山 信彦



学校HP

みんなの笑顔をつなぐ、私たちの NEXT STAGE

～ 第2学期、新たな歩み ～

朝夕の心地よい風に秋の深まりを感じる季節となりました。本日より令和8年度第2学期がスタートし、今年度の集大成へと向かう「後半のステージ」がいよいよ幕を開けます

この実りの季節に大切にしてほしいのは、学校生活のなかで「できない」を「できる」へと変えていく日々の努力です。最初からうまくいくことばかりではありません。しかし、壁にぶつかってもあきらめずに試行錯誤を重ね、しなやかに立ち直る「レジリエンス」を発揮する過程こそが、次なる「できる」を切り拓く力へと育てていきます。挑戦の先にある達成感は、子どもたちの確かな自信となるはずです。

そして、自分を高めるとともに、仲間の頑張りを認め合い、支え合う心を大切にしてほしいと願っています。子どもたち一人一人が主役となり、自由な発想で動き出すことで、「みんなの笑顔」をさらに大切にできる温かい学校を創り上げてまいります。教職員一同、子どもたちに寄り添い全力で支えてまいります。



■ 二中・夢中・大熱中～本気の挑戦 本気の感動～

「生徒が主役」を体現し、自分たちの手で創り上げた今年度の体育祭は、まさに取手二中の歴史を塗り替えるものとなりました。

競技や係活動に全力で臨み、仲間と本気で心を一にしたからこそ、勝っても負けてもあふれ出た涙がありました。互いの健闘を心からたたえ合う姿は、見る者すべての胸を打ちました。

自ら考え、動き、やり遂げたこの舞台こそ、取手二中が誇る生徒主体の姿です。この大きな感動と絆を、次の歩みへとつなげてまいります。



■ 新人体育大会：新たな挑戦と受け継がれる思い

総体で全力を見せてくれた先輩たちの背中を追い、1・2年生による新チームが新人大会の舞台に挑みました。「最後の1秒まで、最後の1本まであきらめない」という強い気迫を胸に、苦しい場面でも自分を信じ、仲間を信じてボールや相手に向き合う姿は、頼もしさに満ちていました。

勝利の喜びも、悔しい涙も、すべてが今後の大きな財産です。先輩たちから引き継いだ誇りを胸に、さらなる高みを目指して挑戦を続ける子どもたちを全力で応援します。



■ 落ち着いた環境で深める確かな学び

今年度の折り返しを迎え、各教室では落ち着いた雰囲気の中で確かな学びが進んでいます。

1・2年生は1学期の反省を生かして日々の学習を積み重ね、3年生は希望の進路へ向け「自分の人生を自分でつかみ取る」強い決意で机に向かっています。

学びは教室にとどまらず社会に広くつながっています。今後もタブレット端末を効果的に活用して個別最適な学びや協働的な探究を深め、自ら未来を切り拓く主体的な力を育ててまいります。

■ 保護者・地域の皆様へ：温かいご支援に心より感謝申し上げます

体育祭には多くの保護者の皆様にお越しいただき、心より御礼申し上げます。温かい声援と拍手のおかげで、子どもたちはもてる力を存分に発揮できました。

駐車場のご利用に際しましても、多大なご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。今後ご不便をおかけすることと存じますが、子どもたちの輝かしい姿や取手二中の教育活動をできる限り保護者の皆様にお届けしたいと考えております。引き続き、温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。